

作詞・作曲家、ショコラティエ

ウォーマック ^{ゆみこ} 夕美子さん

Profile

1956年東京都生まれ。作詞・作曲を手掛けた「ハッとして! Good」が第22回日本レコード大賞で最優秀新人賞を受賞。2019年から「世田谷トリュフ」を経営。

人生の流れに乗って鬼石の地へ

「私」の人生は本当に変わっていい、思ってもいないのに突然大きな変化がやって来るんです」と語るウォーマックさん。「宮下智」の名で数々の著名人やアイドルグループに楽曲を提供し、ヒットを生み出してきた彼女の人生は、不思議と次々にチャンスが舞い込んできました。

ピアノのレッスンで先生に気に入られ、14歳の時にアメリカへ留学。大人しく親の言うことを良く聞く子だったのが一変、親元を離れアメリカの自由な文化を目の当たりにし、「我慢していたものが爆発して不良になっちゃった」といたずらっぽく話すウォーマックさん。クラシックの道へ進むことを期待されながらも、音楽院で作曲の面白さを見出します。

帰国後、バイトで食いつなぐ日々を送っていましたが、レコード会社の友人から「歌謡曲を書かないか」と声をかけられます。「書けます!とすぐに返事をしたものの、歌謡曲はあまり聞いたことがなかったんです。こんな感じかな、と作った曲が通ってしまった」と当時を振り返ります。その後も次々とヒット

曲を生み出しますが、どこか懐疑的な思いが拭えず、結婚を機にアメリカへ移住。華やかな芸能界を離れ、子育てをしながらチョコレート作りを始めます。チョコレートは偶然有名なフードライターの目に留まり大人気に。しかし、自宅が山火事に遭い全焼し、失意の中日本へ帰国します。

「帰国後も次々と仕事やってくる、東京にチョコレートのお店も持ちました。でもある日限界が来て、自然の中に住みたいなと思っただけなんです」と話します。「あちこち見ましたが、鬼石の古民家を見たとき、ここだ!と直感で思いました。眼前に湖が広がり、鳥の声で目覚める生活。自分の身の丈に合った心地良いものが、一番価値があると思うんです」と語ります。

頭を空にし、目の前にある物に感謝する事を心掛けているウォーマックさん。「そうするとふっとアイデアが入ってくるんです。私の生き方は全部そこから」と話します。本当にいい仕事ができるのは70歳を過ぎてからと語る彼女の、「ハッとして! Good」な新しい暮らしが鬼石で始まります。